



あま市立
宝小学校
TAKARA ELEMENTARY SCHOOL

学校だより

たから

R8.3.9 発行

学校教育目標

芽ばえ輝く ～ 未来を拓く 5つの芽 ～

元気な子(たくましさの芽)

よく考える子(学びの芽)

思いやりのある子(優しさの芽)

よく働く子(努力の芽)

きまわりを守る子(信頼の芽)

3月に入り、少しずつ春の気配を感じる頃となりました。校庭では、やわらかな日差しの中で子どもたちが元気に活動する姿が見られ、学年のまとめに向けて落ち着いた日々が流れています。さて、いよいよ3月19日は卒業式を迎えます。6年間の学びを積み重ねてきた卒業生が、新たな一歩を踏み出す大切な節目です。これまで学校の中心となって活躍してきた6年生の門出を、在校生や教職員一同、心から祝福したいと思えます。残り少ない日々を大切にしながら、思い出に残る時間を過ごしてほしいと願っています。

環境教育の授業 3/4

講師の先生をお迎えし、環境について学ぶ授業を4・5・6年生で行いました。川沿い、田んぼ、住宅地など、身近な環境にはさまざまな鳥が暮らしていることを教えていただきました。しかし、川やまちに捨てられたごみによって、鳥たちの生活が脅かされている現状についてもお話がありました。釣り糸やルアーが体に絡まってしまった鳥や、マスクを飲み込んで死んでしまったペンギンなどの例を通して、ごみが生き物に与える影響について考える機会となりました。

また、福田川は日光川を通して藤前干潟へとつながっており、藤前干潟がラムサール条約に登録されている大切な湿地であることも学びました。身近な場所に捨てられたごみが、川や海を通して多くの生き物の命に関わってしまうことを知り、子どもたちは真剣な表情で話を聞いていました。

授業の最後には、プラスチック製品の使用を減らすことや、まちでごみを見つけたら拾うことなど、私たちにできる行動について考えました。身近な自然を守るために、一人一人ができることを大切にしていきたいと思えます。



卒業プロジェクト 3/6

6年生の卒業プロジェクトの一環として、2年生と3年生を体育館に招き、四面ドッジボールを行いました。四方からボールが飛んでくる特別なルールに、子どもたちは最初から大盛り上がり。6年生は下級生が楽しめるように声をかけたり、ゲームを進めたりしながら、優しくリードする姿が見られました。試合が始まると、体育館には歓声や笑い声が広がり、どのチームも夢中になってボールを追いかけていました。下級生にとっては6年生と一緒に活動できる貴重な時間となり、6年生にとっても小学校生活の思い出に残るひとときとなりました。学年を越えた交流を通して、学校の温かなつながりを感じることができた活動となりました。



6年生の卒業プロジェクトの一つとして、4～6年生が一緒に参加する「逃走中」の活動を行いました。6年生が中心となって企画を考え、ハンター役を務めながらゲームを進行しました。下級生が楽しめるようルールやミッションにも工夫をこらし、準備を進めてきました。

ゲームが始まると、逃げる児童たちはハンターに捕まらないようドキドキしながら校庭を走り回り、会場は大いに盛り上がりました。途中のミッションでは友達と声を掛け合いながら協力して挑戦する姿も見られました。学年を越えた交流が生まれ、6年生にとっても下級生と楽しい思い出をつくる貴重な時間となりました。

